

ふるさと熊野

筆道資料の探訪

芸州筆の歴史

熊野町郷土史研究会編

感謝報

謝恩

登里良太郎

熊野町郷土史研究会初代会長

故 登里 良太郎先生 筆跡

まえがき

安芸郡熊野町は周囲を山にかこまれた小さな村でした。

多くの村人たちは猫のひたいのように狭い田畑を耕作していましたが、とても生計を支えるだけの収入を得ることはできません。

春から秋にかけて遠く奈良や紀州の方に出掛けて行ったので

高野山などへの登山者の荷物を運ぶ仕事や、紀州熊野川流域の立木伐切や木材運搬などに従事していたようです。

秋になり帰国する時、いつ頃からか判りませんが、奈良地方に産する筆や墨を仕入れて帰り、冬の間近国諸方に行商する習慣があったようです。芸備地方史研究（星野英一）

熊野筆についての由来、歴史研究が郷土史研究会の重要な研究課題でした。

この本は昭和六十三年五月から筆道資料の探訪と題して熊野町広報に掲載されたものと研究会で発表したものを収録しました。

佐々木 勝之